

2019年3月26日 第268号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

沖縄県民の民意を無視するな！ 辺野古土砂投入はやめろ！

新基地建設は断念せよ！ 3.25 集会に 230 人

勝つまであきらめない！ 全国から連帯し、たたかおう！

「県民に寄り添う」と言いながら、沖縄県民投票で示された辺野古埋め立て反対という県民の民意を踏みにじり、土砂投入を続ける安倍政権。3月25日には新たな区域への土砂投入を始めました。この暴挙に抗議し、県民と連帯してたたかおうと、総がかり行動実行委員会と「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会は25日夜、日本教育会館第1会議室で集会を開き、230人が参加しました。



日本共産党・赤嶺政賢衆議院議員、沖縄の風・糸数慶子参議院議員、立憲民主党・阿部知子衆議院議員、「沖縄等米軍基地問題懇談会」・石橋通宏参議院議員、社民党・吉川元衆議院議員があいさつしました。沖縄の風・伊波洋一参議院議員も参加しました。

「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会の野平晋作さんが主催者あいさつ。「県民投票で辺野古埋め立て NO!の民意が示されたが、今日、新たな区域に土砂が投入された。許せない。政府は民意を受け止め、変更するかどうか民主主義が問われている。沖縄に民主主義がなければ国全体に民主主義がないということだ」と批判しました。

赤嶺議員は「1995年の女子暴行事件が起きたことから大きな運動となり、普天間基地の返還ということになったのに、普天間基地の危険性除去するためだと歴史がゆがめられた。そして移設の条件が辺野古新基地建設となったがとんでもないことだ。一刻も早い普天間基地の無条件撤去、辺野古新基地建設反対で、全国でともにたたかおう」と呼びかけました。

辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議・稲嶺進共同代表は、辺野古新基地建設での問題点等を話し「軟弱地盤でどこまで沈下するかわからない欠陥飛行場を、金と期間をかけて作っても米軍は使わない。莫大な税金が使われることに国民はもっと怒らなければならない。アメリカに付度するのではなく、正面からものを言う日本をつくっていかなければならない。勝つまであきらめない。全国と連帯してたたかう。力を貸してほしい」と訴えました。

辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会・湯浅一郎顧問が辺野古への土砂投入で、沖縄本島の生態系がかく乱されるだけでなく、砂取地でも環境破壊が起こっていることなど、生物多様性を損なう行為を政府が率先して行っていることを批判しました。

総がかり行動実行委員会・勝島一博さんが、19日行動、5月25日の辺野古土砂投入を許さない国会包囲行動、土砂投入反対署名への協力などを提起。公開質問状を4月に提出し、防衛省、外務省など対政府交渉に取り組むことなどを紹介しました。

安倍政権に怒りの声!!

辺野古土砂投入に反対する署名が次々と事務所に届いています。署名と一緒に怒りの声のメモが入っていました。

「県民投票でも圧倒的多数によってNO!という県民の意志が示されたにもかかわらず、埋め立てを止めない政府に腹が立ちます!!」

●大阪

憲法と地方自治破壊・大阪都構想をぶり返す維新政治に終止符を！ 19日行動 府内各地で多彩に展開！

3月の19日行動は、府内各地で多彩に展開されました。

交野の会 3000万人署名、みんなの取り組みで1万突破！ この憲法絶対に変えたらダメ！

北部地域では、AさんとBさんが、訪問活動の中で署名に取り組みました。3月24日の午前中に多くの方と対話し、7人から3000万人署名をしていただきました。その内の2人は大学生で、真剣に考えて、「この憲法を絶対に変えたらダメ」と署名し、「がんばってください」と述べていました。強制的に若者の名簿を提出させようとしている安倍首相に、強い危機感を抱いているということでした。

中部地域で、以前頼んでいた5人の方に声をかけると、「平和憲法守らなければ」「憲法に自衛隊は書きこんだらダメ」と知人に訴え、5人から25筆が寄せられました。

引き続きCさんが12筆、新婦人5筆、東部地域で17筆(東部地域では2000の目標にあと71筆に迫っています)、南部地域で13筆が寄せられ10010筆になり、1万を超えました。

河内長野9条の会 駅頭でハンドマイク宣伝

河内長野9条の会は3月19日夕、三日市駅頭改札口付近でハンドマイク宣伝を行いました。三寒四温、寒い日が続きました。朝から生憎の雨で心配していましたが、昼から雨も上がり、気持ちよくハンドマイクを持ちました。これから明るくなり、暖かい季節の到来ですので、気持ちよく宣伝活動をしたいと思います。

●東京

全都いっせい宣伝 19日を中心に各地で 民放労連 四ツ谷駅前で宣伝 生活課題から改憲反対

民放労連と東京法律事務所「九条の会」は3月19日、四ツ谷駅頭で宣伝行動を実施し、15人が参加しました。ハンドマイクを使ったリレートーク形式で行い、忙しいサラリーマンの皆さんに訴えました。東京共同



センター作成のウェットティッシュが人気。「憲法 9 条を変えさせない」のロゴが入ったウェットティッシュは、使うたびに見てもらえます。

民放労連と東京法律事務所「九条の会」は、毎月 9 がつく日を中心に四ツ谷駅前で行なっている宣伝行動を実施しています。忙しいサラリーマンの昼休みの時間帯。「改憲がすすめば、軍事費にばかり税金が使われ、国民の生活はますます切迫します」と、身近な生活課題と合わせて訴えると、時々立ち止まって署名してくれる方もいます。子連れのお母さんに、「頑張って」と声をかけられることもあります。日本民間放送連盟が、改憲の CM 規制をしないという方針を固めたことに、あらためて危機感を感じます。テレビや新聞をはじめ、マスコミへの圧力が強まる中、民放労連や民放 9 条の会としても、3000 万人署名を中心に、運動をすすめます。

●京都

3月19日演説会 & デモ400人

「9条改憲阻止・辺野古基地建設強行反対・自衛隊へ個人情報わたすな」と訴え



3月19日「安保法制廃止をめざす市民アクション@きょうと」が呼びかけ、「戦争をさせない1000人委員会京都連絡会」「京都憲法共同センター」が共同し「演説会(スピーチ)&デモ」を開催、400人が参加しました。わたし達の3000万人署名や活動により、安倍首相の改憲発議を現在まで阻止しています。国民の世論は「改憲は優先課題とは考えず、介護や福祉の充実を求める」の回答が多数を占め、この世論が改憲策動を困難にしています。

スピーチには、沖縄から県民投票に参加した若者が参加、「辺野古の基地建設反対の県民の意思を無視して、建設を強引に進める政府の民主主義蹂躪に反対し、本土でも共にたたかきましょう」と訴えました。市民アクションからは自衛隊への個人情報提供に反対する、「プロテクト・アワ・プライバシー」の19歳の青年が「市民のための市政を進めるべき京都市が、個人情報を守るのではなく、自ら情報提供しようとしているのはいったいどうなっているのかと憤りを感じた。仲間と声をあげたい」と訴えました。

★当面の取り組み★

憲法共同センター「9の日」宣伝

4月9日(火) 12~13時 新宿駅西口

総がかり行動実行委員会・全国市民アクション「19日」行動

4月19日(金) 18時30分~19時30分 衆議院第二議員会館前・参議院会館前

憲法共同センター学習会 新「防衛計画大綱」と「中期防衛力整備計画」の問題点(仮題)

4月22日(月) 18時30分~20時30分 全労連会館2階ホール

日韓市民連帯集会実行委員会「4・24日韓市民連帯集会」(6月の日韓シンポ・プレ集会)

4月24日(水) 18時30分~20時 文京区民センター3A会議室

憲法共同センター「5・3憲法集会」成功に向けた大宣伝行動

4月27日(土) 14~15時 新宿駅東南口

5・3憲法集会

5月3日(金) 11時~ ミニステージ 12時~オープニングコンサート 13時~メイン集会
15時~パレード 有明・東京臨海防災公園